

VISION



The Brotherhood of St. Andrew Japan, Inc.

ビジョン 《幻がなければ民は墮落する》箴言29章18節

一般社団法人日本聖徒アンデレ同胞会
〒105-0011 東京都港区芝公園3-6-18
日本聖公会東京教区会館内
3-6-18 Shibakoen, Minato-ku, Tokyo
TEL 03-3436-4325 FAX 03-3432-1696
http://www.brotherhood-st-andrew-japan.org

BSA 会報《季刊発行》

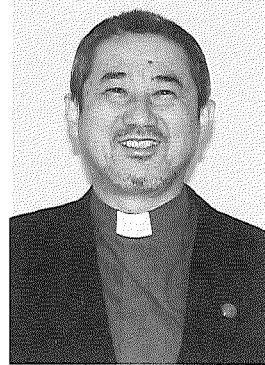
発行人 足立征三郎

編集者 萩谷長生

印刷所 株式会社スコポーション

オリンピックピックパラリンピックと神の国

沖繩教区主教 ダビデ 上原 榮正

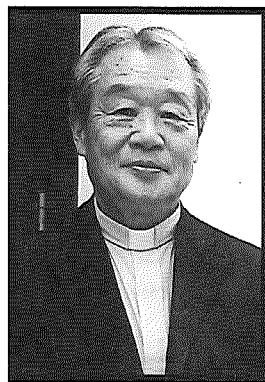


コロナ禍の中、今夏日本では東京オリンピック、パラリンピックが行われました。世界中の人が選手たちの競技を観戦し、感動したと思います。オリンピックは紀元前8世紀のアテネに始まります。短距離競技だけから種目が増し、ギリシア全土から参加を募るため「聖なる休戦」が発案されました。4年に1度の大会前後の3カ月を休戦としたので、オリンピック

は「平和の祭典」と呼ばれるようになりまし。しかし、キリスト教がローマ帝国国教となり、千年以上続いた古代オリンピックは394年に終焉します。時を経て1896年、クーベルタン男爵(仏)の提案で近代オリンピックが始まりました。オリンピック精神は五輪旗にあります。五輪はWの形で五大大陸を表し、世界中の国が参加し、スポーツを通して平和を創造することを目的とします。全ての国ですから、人種、国籍、宗教、文化、言語の違う人や障害者もLGBT(性的少数者)の人も集います。スポーツを通して知り合い、共に生きる世界を目指します。「オリンピックは参加することに意義がある」といいますが、最も近いオリンピックは勝つことに重きが置かれ、残念です。オリンピックでは健常者の選手の手振りももちろんですが、カミングアウトしたLGBTの選手や障害者の競技を見て、アイヌ、沖縄、在日、外国人労働者などマイノリティに生きる人々も励まされたと思います。私はこれまで障害者の競技する姿を殆ど目にしたことはありませんでした。でも、パラリンピックを見て驚嘆しました。両手のない人の卓球、見えない人のゴールボールなど、私の中では始めから無理だ、不可能だと思ってしまう。障害者の方がなっていました。障害者の方が競技するまでには本人の長い忍耐と努力、それに誰かの支えがあったはず。パラリンピックの父ルートヴィヒ・ゲットマン博士は、失ったものを数えるな。残されたものを最大限に生かせ」と仰ったそうです。

竹田眞主教様 安らかに

東京教区主教 フランシスコ・ザビエル 高橋 宏幸



去る9月13日(月)の朝、悲しい知らせが私たちの中を駆け巡りました。91年の地上での生涯に大きな区切りをつけられた、ヨハネ竹田眞主教様の訃報でした。遺影を拝見しますと、在りし日のことが溢れ出てきます。はにかんだ表情でふとおっしゃるジョークやおとぼけ、的を射た言葉、大切なポイントを見極められる鋭さ等々、鮮明に浮かんできます。長く神学教育に献身され、聖公会神学院の改革に努められたという教育者、神学者として

のお働き、幾つもの教会での管理牧師として牧会者としてのお働き、BSA本部チャプレン、教育機関での導き手としてのお働き、第7代東京教区主教、第15代首席主教として幾多の課題に取り組みされていらつしました。私事になりますが、神学生の頃「君たちね、キリスト教は四世紀で終わったよ」と、何の前触れも、その後の解説もなく一言言われたことがありました。驚きを超え、「四世紀で終わった」ということは、今のキリスト教はキリスト教ではなくなくなってしまうのだろうか?と迷い、戸惑い、不安さえ感じさせられたものでした。あの時言われたことの真意が分かるようになった。その間、「本気で言われたのだろうか?」「我々神学生を煙に巻こうとでもされたのだろうか?」「いつものジョークだったのだろうか?」「いろいろな想像や思いが胸の内を去来しました。しかし、その真意とは「常に

故人略歴

1930年東京築地生まれ。立教大学、聖公会神学院卒業後、米国ユニオン神学大学院留学。八王子復活教会、浅草聖ヨハネ教会など東京教区内の多くの教会を司牧。70年聖公会神学院校長就任、88年東京教区主教および98年聖公会首席主教に就座。87年から14年間BSAチャプレン。(編集部付記)

公 示

一般社団法人 日本聖徒アンデレ同胞会第109 総会を下記の通り開催します。

2021年11月4日
会長 足立征三郎

記

日 時:2021年11月27日(土)13時
場 所:聖アンデレ教会 東京都港区芝公園3-6-18
感謝礼拝聖餐式:(オンライン配信あり)

司 式:主教フランシスコ・ザビエル高橋宏幸師父
(本部チャプレン、名誉副会長、東京教区主教)

説教および入会・再宣誓式:
司式・司祭 フランシスコ下条裕章師(本部チャプレン)

第109 総会

第1号議案 2022年度事業活動計画(案)承認の件
第2号議案 2022年度会計収支予算(案)承認の件、
ならびに2020年度収支計算書一部修正承認の件
なお本総会は新型コロナウイルス感染防止のため書面での決議とします。同封の議案資料をお目通しの上、書面での意思表示をお願いします。

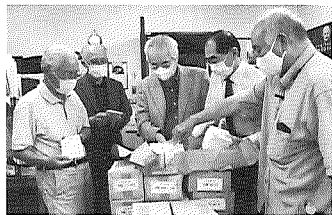
私たちは年齢と共に、体に痛みや故障、病を抱えます。そして「自分にはあれがない。これもない。」と、不平不満をこぼします。今まで、「あの人は10タラント、この人は5タラント、でも私には1タラント、神さま不公平だ。」と思つていました。でもパラリンピックを見て、何か出来るかと思つたのは、私だけでしょか。今年、ミャンマーで軍事クーデター、アフガニスタンで政府崩壊が起こりました。私たちは都合の悪いものや異質なものを排除する傾向があります。戦争、内乱、クーデター、暴力、貧困、災害、最近では気候変動など様々な理由で、人々が分断されていきます。小さい弱い立場の人が排除され、難民となり、生命、財産、自由、平和が奪われてい

第二期信徒叢書14年ぶりの発行

BSA第二期信徒叢書3点が発行された。

9月30日、正午すぎ、新刊を入れた段ボール箱がBSA本部に運び込まれた。足立征三郎会長、尾崎茂雄、木島出副会長、永井信行信徒叢書編集委員長、松田正人、吉松英美同編集委員らが拍手で迎えた。

ると、中からまだインクの匂いがする新刊をみんな取り出し、色具合や印刷製本状態を確かめた。



特集 第二期信徒叢書発行

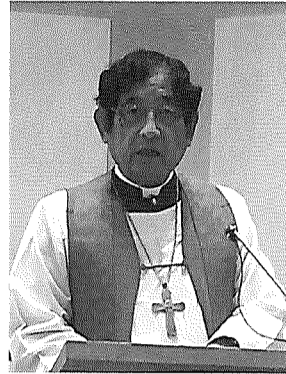
推薦します

『聖書の心と茶の心』

北海道教区主教

ナタナエル

植松 誠



言っていたものだが、今回これを読んだときに、改めて、否、初めて、「茶」の深さと豊かさに気付かされた思いがした。

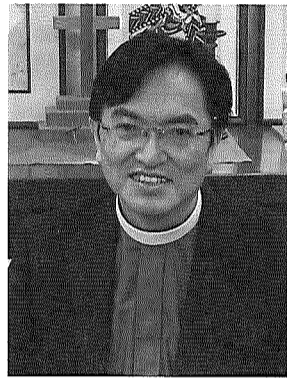
慈しみ、憐み、愛、謙遜など、キリストの福音の根幹が「茶」の中にあるということ、そして、「茶」が単なるたしなみではなく、その人の生きざまそのものであるということ、信仰を生きたことと重なるのだと気付かされたのである。

『ウイリアムズ主教に学ぶ』

中部教区主教

アシジのフランシス

西原 廉太



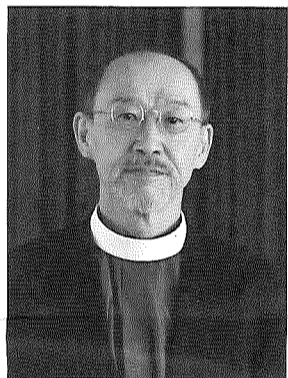
日本聖公会、そして立教大学の礎を築いたチャニング・ムーア・ウイリアムズ主教を表現する言葉としてあまりにも有名な「道」を伝えて己を伝えず」です。

50歳の頃、ウイリアムズ主教は遺書を書きますが、その中で、自身の書簡、説教、メモの類はすべて焼却するように命じられました。

「道を伝えて己を伝えず」という言葉自体、本人が残したものではありません、生前のウイリアムズ主教の薫陶を受けた人々が、その生き方を形容し、墓碑に刻んだ言葉に他なりません。

そのようなわけで、ウイリアムズ主教が実際には何を考え、どのようなビジョンを持っていたのかを正確に知ることは

案外、難しいことなのですが、大江満先生が纏められた労作、『宣教師ウイリアムズの伝道と生涯—幕末・明治米回国聖公会の軌跡』のように、国内外の諸資料を丹念に調べあげた研究などによって、ウイリアムズ主教の実像がより鮮明に明らかにされるようになってきました。そのような成果をもとに、一般の信徒のみならずにも簡明かつ分かりやすく、ウイリアムズ主教の生涯とその働きを紹介するのが本書です。



東北教区主教

ヨハネ 吉田 雅人

『神の教会・わたしたちの教会』

BSA信徒叢書として加藤博道主教様が、信徒の奉仕職についての概説を著してくださいました。

20頁の小著ですが、前半は信徒の奉仕職の初代から現代に至る歴史、教会問答にみる信徒の奉仕職の根拠、ことに礼拝において信徒が担うことのできる具体的な役割などが丁寧に説明されています。そして後半は「信徒奉仕者」の歴史、海外聖公会における信徒奉仕者養成のための準備教育が紹介され、最後に私たち日本聖公会における「信徒の奉仕職」の再構築に向けての提言がなされます。

日本聖公会においても1980年前後の「明日の教会を築く会」運動、1995年以降の訓練計画委員会「信徒使徒職トレーニング」など、信徒の奉仕職に関する様々な試みがあるが、多くの信徒の皆さんが熱意をもって参加してくださいました。しかしなかなか形として現れなかったのです。それを象徴的に表しているのが祈禱書の諸祈禱にある「聖職と信徒のため」という祈りではないかと思えます。この祈りの中で聖職は明確に役割が記されていますが、信徒については教会問答のように明確に記されていません。

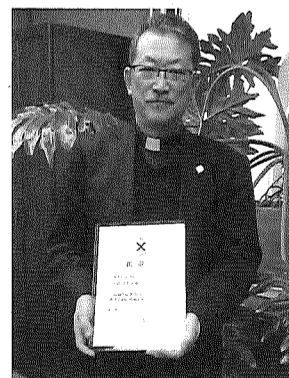
加藤主教様も本書の6頁で触れておられるように、今、私たちに求められているのは、神の民である信徒と聖職が、どのように神の宣教の働きに参与するかということでしょう。

本書はその働きについて考えるきっかけになるものと思いい、推薦いたします。

信徒叢書の新刊発行を お祝いいたします。

首座主教

ルカ 武藤 謙一



この度、BSA信徒叢書の新刊が発行されますことを心よりお祝い申し上げます。VISIONや「管区事務所だより」により、3冊が同時に発行されること、どれもとても興味深く、わたしも早く手に取って読みたいと思います。

九州教区主教座聖堂・福岡聖パウロ教会の礼拝堂前のロビーには代金箱がついた書棚があり、これまで発行された信徒叢書18冊全てが備えてあり、誰でも購入できるようになっています。聖書、礼拝、歴史、聖公会、信徒の務めなど、「信徒叢書」の名に相応しい内容のものばかりです。新刊だけでなくこれまで発行されたものも多くの方に読まれることを、またBSAの信徒叢書発行活動がさらに盛んになることを願っています。

大阪教区主教

アンデレ 磯 晴久



主の聖名を賛美致します。実は私はこの信徒叢書に大変



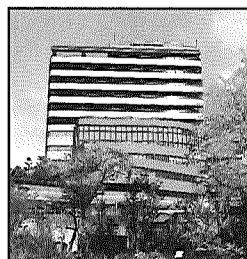
St. Luke's
会員制健康クラブ
聖路加フレンズ

株式会社聖路加コーポレーション
聖路加フレンズ事務局
<https://www.stlukes-friends.com/>

聖路加フレンズは、
健やかなところとからだをつくるための
会員制健康クラブです

☎ 03-3541-1056

受付時間 平日9:00~16:00
(土・日・祝日を除く)



創立の恩人 ポールラッシュ
学校法人メイウシヤマ学園

ハリウッド大学院大学
ハリウッド美容専門学校

〒106-8541 東京都港区六本木6-4-1 六本木ヒルズハリウッドプラザ
☎ 0120-083394 www.hollywood.ac.jp

お世話になってきた者です。コンパクトな大ききで、洗礼準備や堅信準備、信仰の学び、聖書研究の時に用いてきました。

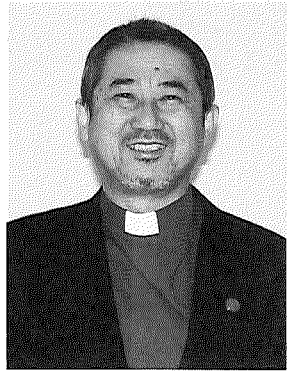
BSAは信徒運動ですので、テーマや内容も信徒・求道者の目線からのものとなっており、平易で利用しやすい小冊子でした。

また、平易であると同時に、尊敬する諸先輩方や同労者の書かれたものですので、内容も深く、しつかりしたもので安心して用いることができました。

今回信徒叢書発行活動を再開されるとお聞きし、密かに期待を寄せておりました。今後とも信徒・求道者の眼差しを忘れることなく、文書伝道活動に励んでください。

神さまの導きが豊かにありますようにお祈りしております。

沖繩教区主教
ダビデ 上原 榮正



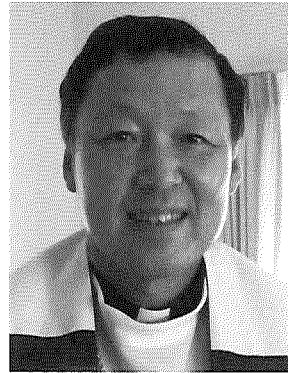
14年ぶりの信徒叢書の発行、おめでとうございます。

わたしは全巻ではありませんが、殆どの信徒叢書を持っています。信徒叢書には聖公会信徒として知っておきたいことがコンパクトに記されています。内容的にも1つ1つの事柄が深く、また簡潔に記されています。このような冊子が再び発行されますことを、心から喜び、お祝い申し上げます。

この信徒叢書発行の業を通して、福音の光がさらに多くの人

の上に届けられますように、またBSAの兄弟姉妹のお働きの上に、主の祝福が豊かにありますように、お祈りします。

横浜教区主教
イグナシオ 入江 修



14年ぶりに新しい信徒叢書が発行されたことを喜び申し上げます。

信徒叢書といえは40年ほど前の夏、軽井沢のシヨウ記念礼拝堂に滞在させていただいた時、礼拝堂の入り口に備えられていたことを思い出します。

避暑地である軽井沢は夏、多くの人が礼拝堂にも立ち寄られました。そんな折にただ礼拝堂を見学するだけでなく、キリスト教とは、聖公会とは、そして信仰とは、といったことを知る接点となるのがこの信徒叢書でしたし、今でもそれは同じではないかと思えます。

教会や礼拝堂その他さまざまのところで、神さまに心傾ける人を信仰へと招き入れ、また信徒の皆さんがその信仰をますます深め、信仰生活が豊かに養われる糧として、これからもいろいろな場面で読まれ活用されることを心から願っております。

信徒叢書発行祝辞

管区事務所総理事

司祭 エッサイ 矢萩 新一
14年ぶりに3冊の「BSA信徒叢書」を発行されること、心よりお祝い申し上げます。これまで、日本聖公会に連

なり共に信仰生活を送る者として、知っておきたい心得をコンパクトにまとめられた18冊の叢書を発行され、広く用いられてきました。手に取りやすい工夫と努力が詰まった宣教の働きだと思えます。

信仰、歴史、礼拝に関する3つの新刊も多くの方々が手に取られ、信仰の旅路の友として用いられていきますように。

著者はもちろん編集に携わった方々、BSAの皆さまのお働きに感謝いたします。

聖公会神学院校長

司祭 アンデレ 中村 邦介

長い間BSA信徒叢書は、多くの人々に手軽に読める信仰生活の手引書として親しまれてきました。新しく発刊される3冊は、いずれも興味深い内容であり、特に日本聖公会に属する私たちの教会生活にとって極めて啓発的で意義深いものとなっております。

旅する教会は、聖職も信徒も「信仰から信仰へと成長していく」ために、絶えず学び続けなければなりません。このような学びの共同体を最もコンパクト且つハンディに支えている信徒叢書に感謝し、その充実と広がり大いに期待しています。

BSA本部チャプレン

司祭 フランシス 下条 裕章

BSA信徒叢書に新刊が加わることに對し、嬉しく歓迎の意を表します。またご執筆、編集の労をお引き受けくださった方々のご尽力に感謝いたします。

かつて、聖公会には聖公会冊集(日本聖公会出版部)や修士会叢書(聖ヨハネ修士会)などの小冊子が多様に発行され、教会・礼拝堂の多くに備えられていたように記憶します。近年は

BSAの信徒叢書を、例えば「聖公会」という名の教会(一)」を教会紹介・伝道のため新来者に、あるいは「十字架」を洗礼準備の資料として活用してききました。

この叢書がさらに充実し、新しいニーズに応える内容とあり方で、教会の宣教の働きに活用されますよう、祈念いたします。

司祭 ダビデ 市原 信太郎

BSA信徒叢書には、信徒として、神学生として、そして聖職としていろいろな形でお世話になってきました。今回、久しぶりに新たな叢書が3冊も刊行されるとのことで、大変喜ばしく嬉しい思いであります。

いずれも興味深いトピックで、一読者として手に取り、読ませていただくのを楽しみにするのと同時に、授業などでも活用させて頂ければと思っております。

誤りなく簡潔に基礎的な知識を伝える、という叢書の役割は、BSAの信徒教育のための働きとしてますます重要になっていくことと思えます。今後、この働きがますます発展していくことをお祈り申し上げます。

祝 信徒叢書発行

BSA顧問

アンデレ 黒田 哲朗

新しい信徒叢書3冊の発行を心よりお祝いします。

BSAの信徒叢書は会員の大切な教科書であり、活動をするうえでの道標であります。

BSAの会員の大切な活動の一つは、主日に教会に行き聖餐を受けて、社会の中で人々との様々な交わりのうちに、宣教活動を行い、教会に導けるようにする、それが基本であります。

以上の様な諸活動を支える為にVISIONはBSAの種々な情報を伝える大切な役目を持つております。編集委員の方々の働きに對して感謝と共に会員の道標となる情報を掲載される事を希望しております。

BSA顧問
ダビデ 倉石 昇
信徒叢書を14年ぶりに発行という朗報に小躍りした会友はわたしだけではあるまい。

信徒叢書は、1988年4月、『聖公会』という名の教会(一)〔竹内 寛〕をもって呱呱の声をあげた。新書サイズ、平均16ページ、ポケットに入れて持ち歩きできる小冊子は、BSAの文書活動として成長した。初版4,800部でスタートした。

国内はもとより、海外の日本人教会や関係教育機関等にも配布した。また、高橋恵太郎兄の考案になる木製の書架を各教会に贈り、叢書の普及を図った。BSA活動をご指導下さっておられる主教様や関係の方々には心からの感謝を申し上げます。特に叢書の発行を目前に亡くなった松平信久先生には、『タッカー回想録』を感謝して読んだ直後故寂しさを禁じ得ない。

BSA信徒叢書刊行、おめでとうございます。例えば、昭和62年、竹田眞主教によるBSA60周年の感謝礼拝の翌年、文書伝道の一環としての創刊でした。

評議員

ミカエル 松岡 正治

BSA信徒叢書刊行、おめでとうございます。

『聖公会』という名の教会(一)に続き、『奇跡は語る』、『聖書に聴く』、『キリスト教史』、『聖公会』という名の教会(二)、(三)、(四)等も心に残っています。

ポール・ラッシュの存在すら

★一般ご家庭の引越 事務所引越
★オフィスの引越 のエキスパート!!
★フロアの移動
★各種展示会セッティング etc...
Gtec 株式会社ギンテック
港区港南3-4-12
0120-223-008
TEL 3471-5313

ホームメイド・チーズケーキの店
CHEESE CAKE
JOHANN
HOME BAKED MADE
和田博子
目黒区上目黒1-18-1
TEL 3793-3503

立教企画グループ
学校業務受託、人材派遣等承ります。
株式会社 立教企画
株式会社 立教オフィスマネジメント
株式会社 立教ファシリティマネジメント
株式会社 立教ライブラリーマネジメント
http://www.rikkyo-planning.co.jp

求人・求職は
@K オフィスカネコ(株)
(有料職業紹介許可 14-ユ-300917)
代表取締役 金子 眞
携帯:090-3428-1938
E-mail: mk8391@triton.ocn.ne.jp

知らない信徒も多い時代です
が、BSA会員各位には、「一人
がひとり」の精神を發揮し、こ
の叢書をBSA会員は勿論のこ
と、非会員の信徒の方々に勧め
て欲しいと願っております。

評議員

パウロ 小出 康之

BSA創立100周年を期し
て14年ぶり一挙3冊の新刊発行
をお祝い申し上げます。南町田
支部でも既発行の叢書は活用し
ており、直近では今井丞治司祭
をお招きして『聖公会という名
の教会』を講じていただきました。

新刊についても講師をお招き
して勉強会をしたいと思いま
す。

叢書を発行し続けることは
BSA会員のみならず会員外へ
の宣教上からも意義のあること
です。

個人的には左記のような叢書
があればと考えます。

清里周辺のガイドブックには
ポール・ラッシュ博士の記載は
ありますが、十分ではありません
。博士の業績をもっと知らせ、
BSAとの関係にも触れた叢書
を期待しています。

評議員

リチャード 倉辻 明男

信徒叢書の新刊発行を心から
お祝い申し上げます。BSA創
立100周年の記念事業として
14年ぶりに新刊が発刊されたこ
とはVISION175号で広
く報じられております。

信徒叢書は、勉強会の教材、
クリスマスやイースターのプレ
ゼント、洗礼・堅信のお祝いと
して広く用いられております。
聖堂や信徒会館の入り口に置
かれていたこともよく見かけま
す。BSAの言うだけでなく、
全ての聖公会信徒の信仰の手引

きとして定着している証です。
日頃の信仰の道標としてお手
元におかれることを願います。

房総支部

支部長 ヨハネ池田 稔

BSA信徒叢書3冊の発行大
変喜ばしく感謝です。

イエス様の誕生の記述にも、
「時の満ちるに及んで」とあり
ます。世界中でデルタ株の猛威
が吹き荒れている昨今、これら
の書物が発行されることは、大
変意味深いものと思います。

毎主日礼拝を守ることを生き
がいとしてきた私達は、通常の
日曜礼拝の休止、教会内での諸
活動の停止などにただ呆然とす
るのみです。

神と共に生き、歩む喜びを
知っている私達は、若者の教会
離れなど、多くの問題を抱えて
います。主が信徒叢書を祝し、
本来の信仰生活が与えられます
ようお祈り致します。

横浜支部
支部長 テモテ 早野 勝徳

実に14年振りの新刊発行と知
り、著者並びに出版に関わった
諸兄に感謝を申し上げます。
このことによって私共の信仰
が益々強められることを心より
祈ります。

5年前から信徒会館の一角に
信徒叢書コーナーを設け、新し
く来た方に差し上げたり、興味
のある方に購入して頂いていま
す。

今回の新刊発行が日本聖公会
全体の広報活動強化へと結びつ
くことを期待します。

今後にお願したいテーマ
は、「聖書の名言」、「日本聖公
会の福祉事業」など信仰生活の
糧になるもの、漫画やイラスト
を多用して平易で初心者に理解
し易いものをお願いします。

北総支部

支部長

アウグスチヌス 岩間 光雄

BSA会員の皆様お元気ですか。
コロナ禍の中にあつて教会活
動もBSA活動も停止している
今日、信徒叢書3冊が発行され
る由、おめでとうございます。

キリスト教が発達して2100
年、幾多の困難を超えてきた人
間社会がその倫理を守り続けて
こられたことは後継の牧師・学者
哲学者による解説、教育の賜物
であります。

現代に生きる信仰の賜物とし
て、それぞれの信仰の旅路の中
生かして行きたいものです。

BSA活動もその一端を担う
ものとして自覚、活動して行き
たいものです。

平塚聖マリヤ教会支部
支部長 イサク 小室 喜雄

ウイリアムズ主教の「道を伝
へて己を伝へず」の言葉は、日
本聖公会の伝統と信仰の強さを
現わしていると思います。しか
し、イエス様の働きが記された
からこそ、今に伝えられたよう
に、先人の信仰のあり方を誰か
が後世へと伝えていくことも大
事だと思えます。日本聖公会の
中で、BSA信徒叢書はとても貴
重な存在になったと思えます。

苦難の中にも主と歩まれた先
人の生き様・信仰の姿を知るこ
とは、今の新型コロナウイルス
感染症の中で「主から離れがち」
な私たちの心に力を与えるだけ
ではなく、未来にむけた信仰の
灯台となると思います。願わく
ば小さな一冊一冊の叢書が、主
のみ心にかなう「からし種」と
なりますようにお祈りします。

福岡支部

幹事 パウロ 下村 仁士

14年ぶりの新しい信徒叢書、
本当に感謝です。

私たちにとって信徒叢書は、
信仰生活をより豊かにしていく
ために、欠かせない書です。ま
た、求道者には、信仰のすばら
しさに出会うために、ぜひお勧
めしたい本といえます。

現在、コロナ禍や災害の多発
など混沌としています。こう
した時代ゆえに、信仰の大切さ
を改めて感じます。その信仰を
伝えるうえで、信徒叢書は大き
な役割を果たしています。

一人でも多くの方が新しい信
徒叢書を手にする中で、信仰
が広まり、すべての人に主の福
音が宣べ伝えられることを願っ
てやみません。

盛岡支部

支部長 ルカ 赤坂 徹

コロナ収束後の支部活動再開
を目指してテキストを探してい
たところ、チャプレンの越山哲
也司祭が、BSA信徒叢書から
加藤博道主教の『神の教会・わ
たしたちの教会―信徒の奉仕職
のヴィジョン』、高橋宏幸主教
の『聖書の心と茶の心』、立教
学院の松平信久元院長の『ウイ
リアムズ主教に学ぶ―その生涯
と師をめぐる人々』が発行され
ることを教えてくれました。

私達会員は宣教協働区・伝道
教区制にどのように対処すべき
か。祭壇奉仕での所作に茶道と
の関連性があるとすれば興味深
いです。

早く読みたい気持ちがいっぱ
いで待っています。

清里支部

支部長 アブラハム 野田 徹

聖公会の信徒にとつて知って
おくべき歴史の一コマや、礼拝
での大切な理念や組織体の解説
書シリーズとして、1988年か
ら世に送り出されてきた「BSA
信徒叢書」の新刊が、3冊同時に
発行されました。

BSA会員のみならず、全て
のキリスト者にとつてもまこと
に喜ばしい出来事であり、うれ
しくお祝いを申し上げます。

清里のポール・ラッシュ記念
館でも、信徒叢書専用棚の展示
販売により購入することができ
ます。いつか「清泉寮とポール・
ラッシュ」のお話が叢書に加え
られたらと思います。

南町田支部

支部長 アブラハム 松田 正人

担当に加わりましたが、その
時にはすでに新刊発行のプラン
が整っていました。それぞれ興
味深い本となりました。

BSAへの入門書としても勿
論ですが、初めて教会へ来る方
へのプレゼントしても有益なも
のとなりましょう。我らの聖ア
ンデレは書物もありません、イエ
スを信じて従い、兄弟を誘い、
イエスの復活を信じ宣教の器と
なりました。現代に生きる我々
は恵まれています。既刊書と合
わせて活用したいものです。

今後のシリーズも易しすぎ
ず、難しすぎず、書きたい人よ
り書いて欲しい人の文章を選ん
でいきたいと思えます。

信徒叢書の

お申し込み方法

まとめてお申し込みを！

頒価はいずれも100円。販
売担当者は、「できるだけ三冊
セットで、かつ、教会、支部あ
るいはグループ単位でまとめて
お申し込みくださると、送料も
安くなるので、お徳感がありま
す」とのこと。

申し込み方法

申し込みは電話あるいはファ
クス、メール、郵便を利用して
ください。
なお、VISION176号

発送時に申し込み用紙を同封す
るので、活用してください。
代金請求用紙は書籍と一緒に
同封して送ります。

BSAのホームページから
申し込み用紙をプリントしても
ご利用いただけます。

お申し込みの際は、申込者の
氏名、住所、電話番号、購入書
名と部数をお忘れなく。

電話等による申込先

電話：03-3436-4325
(月・木・金)

Fax：03-3432-1696

メール：mailbsa@nisk.org

郵便による申し込みは、

105-0011
東京都港区芝公園3-6-18
日本聖公会東京教区会館内

BSA本部「信徒叢書係」まで。

お祝い他の贈答に活用を

勉強会や読書会をはじめ、ク
リスマスやイースターなどの教
会カレンダーに合わせた贈り物
に、結婚(記念日)や誕生日、
新教会員、求道者、BSA新入
会者、進学・卒業等のお祝い
に、あるいは病氣や悩んでいる
人へのお見舞い、慰めや励まし
にもお役に立つことを編集部で
は期待している。

また、友人・知人等広く皆さ
んのまわりにいる人たちにお
勧めくだされば、幸いです。

なお、これを機に既刊書の購
入もBSAでは期待しています。

感想文をお寄せください

今回新しく発行した叢書
をお読みになった感想文を
VISION編集部までお送り
ください。
次号(1月発行)以降随時ご
紹介していきます。

ヨハネ竹田 眞主教の思い出

聖アンデレ教会

ミカエル 松岡 正治

竹田眞主教が去る9月13日に亡くなり様名で葬送式が行われたが、追って東京でも記念式を執り行う予定である。

竹田主教はBSAとの関わりが長く、また同師の指導を受けた聖職者も数多い。『日本聖徒アンデレ同胞会70年史』の冒頭に「発刊に当って」を寄稿しておられ、これを読み返すと竹田主教が長きにわたりBSAの発展に心を寄せて下さっていたことがよくわかる。

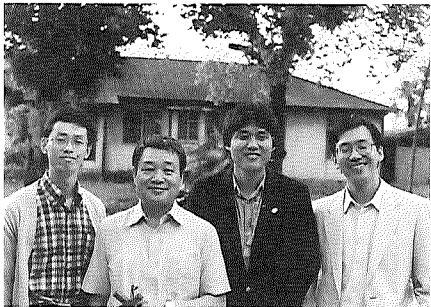
竹田主教と私の出会いは東京の聖アンデレ教会であった。当時から中学生の育成に強い関心を持っておられた。竹田さんが大学生で私が高校生だったころ、聖堂で説教の練習に励まれ、その中で自分の意見を述べる大切さを教えて下さったことは記憶に新しい。

当時の牧師は今井直道先生で、牧会には厳しい方だった。そこで仇名をつけるのが得意だった竹田さんは今井司祭を「検事総長」と名付けた。夏のキャンプに一緒した時のこと、館山の海水浴場で一泊したが、夕食の懇親会で盛り上がり、珍しく竹田さんは周囲が止めるにも拘わらず大騒ぎをしたことがある。中高生会の会長だった高橋昭さん(後に音楽評論家として活躍)はとても真面目な人だったので、翌朝竹田さんともう一人の共謀者の安藤さんに対して「帰って下さい」と申し渡した。さすがの今井先生も驚いて「そこまでしなくてもよい」と言われ一件落着いた。その後しばらく「帰って下さい」は教会内での流行語となった。このような竹田さんの人間味あふれる一面は、やがて信徒の話しをよく聴く聖職者としての

礎をなしていたように思える。

東京教区の主教に着座後も教区会館に居られたので、あたかもアンデレ教会の牧師を兼務されているような身近な存在であり、気さくにお話しすることができた。いつも温和な竹田主教であるが、主教座聖堂の建築案が出された時は別であった。斬新な設計であったためか、「私は賛成できない。君たち体を張って反対してくれ」と言われた。件(くだん)の「帰って下さい」の高橋昭さん等数人で声を上げたので、この案は取り止めとなった。このことは心ない反対運動であるとの批判も浴びたが、今では懐かしい思い出の一つである。その後、竹内司祭の下で晴れて新聖堂が建築されたことは皆さんご存じの通りである。竹田主教とは教区の委員会等でたびたびお会いする機会があった。女性聖職についても深い理解を示され、その結果多くの女性執事や司祭が叙任された。今でも女性聖職者から感謝の声をしばしば耳にすることがある。他方、アンデレ教会のガールスカウト発足にも尽力された。かつて神楽坂の主教邸に親しくお誘い下さった年上の令夫人ともどもパラダイスで安らかに憩われんことを！

心よりご冥福をお祈りする次第である。(評議員)



神学院校長時代の竹田主教(左から2人目)(右端は中村邦介現校長)

連載忘れ得ぬ人々(6)

松本 文司祭

三光教会 ルカ 永井 信行



日本 銚子 諸聖徒教会

兵庫姫路に住んでいたころのことです。娘が3歳になり幼稚園は教会関係にしたいと思っていたところ、たまたま姫路顕栄教会広畑幼稚園の看板を見つけたのです。その園長さんが松本司祭でした。

子供が大好き、いつも司祭のキャソックには4,5人の園児がぶら下がっているような感じでした。入園後何度か我が家の県営住宅に來られました。トマトジュースを飲みながら話が弾みました。話し上手、聞き上手で大きな声で笑います。話が佳境に入ると、この部屋は聖霊に満たされてきた、と両手を広げます。楽しいことが好きで神戸女学院に行っていた息女、和子さんが帰って来られるとお声がかかり、三宅さん(日曜学校校長)野間さん(園医さん)わたしと司祭で男声四部合唱の練習をします。発表の機会はありませんでしたが、楽しいひとときでした。

私達は神父さんと呼んでいました。ご本人も神父と呼ばれると嬉しいようで後に銚子諸聖徒教会に移られてから「ろば」という教会報が送られてきました。それが松本神父と書かれていました。「いななき」という欄があり、飼料代感謝、などと

書いてありました。終戦後組合活動が盛んなころ、ガリ版刷りの謄写版が活躍しましたがそのガリ版向けの文字でぎつしり書いてあります。みんなご自分で印刷したものと思われまます。私も中学校の時にガリ切りをして校内新聞を作りましたから、あの文字を練習したものです。後で聞いた話ですが漱石の坊ちゃんのように無鉄砲で喧嘩っ早いと評判だったとのこと。もとBSA会長の伊達宗浩さんは私のほうが年下なのにあの人の仲裁を何回したとか、と笑っていました。清里から浜松で勤務された宿谷司祭とお二人は競争中に特高から拷問を受けたという伝説の持ち主です。横浜教区から姫路に転任になったのは、エリザベス・サンダースホームのチャプレンをしていた時澤田美喜さんと喧嘩をして追出たのを八代斌助さんが神戸教区に呼んだということでした。

ほとぼりが冷めたからでしょうか横浜教区の銚子に転任になった年の秋、広畑幼稚園の創立記念日にスバル360で銚子から駆け付けました。まだ高速道路も繋がっていません。皆びっくりでした。私も東京に転勤し、三崎町に移る前の街中の教会に行った時のことです。随分大勢の人で驚いたのですが、それはこの時東京電力が火力発電所を作るといのでその反対運動の先頭にいるのが松本神父だったのです。勢い余って銚子市長選挙に立候補しました。横浜教区もびっくりしたでしょうが、もうどーにも止まりません。勿論落選ですが、あのお人柄ですから、多くのファンを得たことと思います。

現在の三崎町に移ってすぐにその頃はまだ珍しかった0歳児から預かる保育園を立ち上げました。落成のお祝いに行ったら、それはそれは嬉しそうで活動が盛んなころ、ガリ版刷りの謄写版が活躍しました。そのガリ版向けの文字でぎつしり書いてあります。みんなご自分で印刷したものと思われまます。私も中学校の時にガリ切りをして校内新聞を作りましたから、あの文字を練習したものです。後で聞いた話ですが漱石の坊ちゃんのように無鉄砲で喧嘩っ早いと評判だったとのこと。もとBSA会長の伊達宗浩さんは私のほうが年下なのにあの人の仲裁を何回したとか、と笑っていました。清里から浜松で勤務された宿谷司祭とお二人は競争中に特高から拷問を受けたという伝説の持ち主です。横浜教区から姫路に転任になったのは、エリザベス・サンダースホームのチャプレンをしていた時澤田美喜さんと喧嘩をして追出たのを八代斌助さんが神戸教区に呼んだということでした。

信徒叢書のある風景(9)

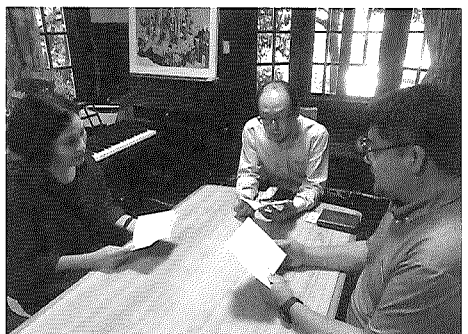
ウイリアムス神学館館長

司祭 ヨハネ 黒田 裕

信徒叢書を授業で直接使ったり、勉強会はしていませんが、神学校での学びの導入や、聖公会論や礼拝学の学びの入門に最適なものもあり、時おり神学生や聴講生たちに薦めています。神学校の場合は、授業は勿論のこと聖研を含め様々な「勉強会」があるので、取り立ててこの叢書を用いた勉強会を持つというのが想定しづらい、というのが正直なところでは

信徒叢書は、薄くてコンパクトであるのが特長の一つだと思います。それだけに、その薄さもそうですが背表紙がないために、年数が経つと(殊にこれまでに「転勤族」であった私のような者の場合)自分の本棚の中で叢書が離れ離れになって見つけづらくなってしまう(散逸する)のが残念です。

例えば、複数巻あるものは合本にして背表紙を付けていたかどうか、あるいは、全シリーズを一括購入すると専用の「函(はこ)」または「ケース」が付いている、その函には背表紙がついている、といったようなことがあるとともありがたく思います。私自身は、その函が有料でも購入したいと思います。



ポール・ラッシュユから受け継ぐもの(5)

ポール・ラッシュユさんのお墓

東京聖三一教会

ルツ 廣嶋 都留

ポール・ラッシュユさんとお別れして早や42年、夫名取良三が先に旅立つことを詫びながら逝ってから、45年の歳月が過ぎました。

二人は現在、山梨県清里の聖アンデレ教会の納骨堂で静かに眠りについています。周りには、清里農村センターの設立時に、ポールさんの働きを信じ、励まし続けて下さった、アメリカの後援者、BSAのメンバーの方達数名と一緒にポールさんを取り囲んで下さっています。またなつかしい村の信者さん達も一緒です。「安住の地」です。

ポールさんはもうひとつ、東京八王子の高尾の霊園に、遺言通り名取家の墓地に納められています。

良三はかねがね、「ポールさんは命の恩人、一番大切な人。二番目はキープの働き、三番目が家族」と云って居りました。私共家族は、ポールさんを「大切な方」と「家族の長」として墓守りを致しております。

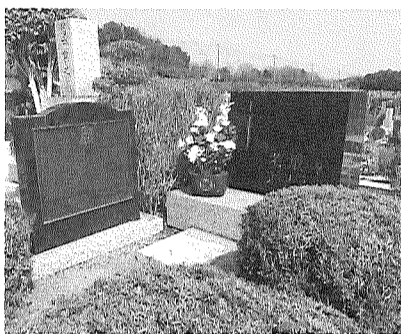
また、武藤六治主教様は、長い間キープ協会の家族の一員として、お命日には何時もキープで働いていた方、ポールさんに世話になった方、BSAの会員の方2、3人に声をかけて一緒に八王子まで出向いてくださり、墓前礼拝をしてくださいます。

長い間、ニューヨークにおりました私に手紙やメールをくだ

さり、「今日、お墓でお祈りをして来ました。安心して下さい」と・・・

有り難くて、嬉しくて、感謝一杯で何度もお便りを読み返しておりました。

ポール・ラッシュユさんの納骨式を司つて下さった後藤 眞主教が「ポール・ラッシュユさんの偉業は書き留めて置くべきです。私が書くから刻印して残しましょう」と発案して下さい、墓石の左側に立派な墓碑を置く事が出来ました。



(写真は、ポール・ラッシュユの墓地。その左側にあるのが墓碑)

お墓参りに行く時は息子は何時も、サントリーウイスキーの小びんを持参し、お酒をこよなく愛したグランパと父親にと墓石に振りかけます。お命日に参りますと時々お墓にタバコ一本が供えてあるのに出会います。

ポールさんはよく、くわえタバコで仕事をなさり、器用に話をなさっていました。ポールさんを良くご存知だった方が来て下さり、一緒に一服なさって下さっているのだと思います。

ありがとうございます。墓地番号・八王子霊園30区0列1号です。

ポール・ラッシュユの墓碑

後藤 眞主教筆

日本を愛し 一生を捧げし

ポール F・ラッシュユ

ここにねむる

米国ケンタッキー州出身

ポール・ラッシュユ先生は、1925年関東大震災によって壊滅した東京及び横浜のYMCA再建委員として来日し、以来日本におけるキリスト教の宣教と青少年の育成のためにその生涯を捧げられた。

YMCAの再建に従事すると共に、同じく震災で被害を受けた東京聖路加国際病院の復興と拡充のため募金活動を精力的に行い尽力された。そして当時の聖路加病院長、トイスラー博士のすゝめで立教大学で教鞭をとることになった。立教大学在職中に聖徒アンデレ同胞会を創出し、また東京の諸大学に大学英語会連盟を創設した。

1938年には八ヶ岳山麓清里に指導者訓練場を建設し、学生達の精神生活の高揚に努めた。先生の教えを受けた学生のうちから多くの日本聖公会の指導者聖職が生まれている。

ラッシュユ先生は、第二次世界大戦勃発と同時に米国に送還されたが、終戦を迎え再び来日し、戦後の日本の農村の民主化と生活上のため余命を捧げることを決心されたのである。1948年、清里農村センターを設立、清泉寮を中心に教会、病院、農場、保育園の施設を設置し地域の発展に寄与するとともに、高寒冷地モデル農場の実

験を通じて日本全国の酪農の振興に貢献した。

スポーツ界では、日本のアメリカンフットボールの生みの親(1934年に日本に紹介)として広く知られ、また戦後の高校野球の再開に尽力された。ラッシュユ先生の活動は単に教会内のみならず多くの分野に及んで各界に与えた影響は、はかり知れないものがある。

ポール F・ラッシュユ先生の生涯は誠に偉大であり、その業績は不滅である。

1980年6月

日本聖公会

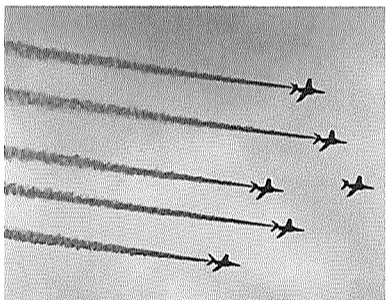
主教 後藤 眞

サラ 吉村 啓子

(東京聖三一教会「聖鐘」から転載) パラリンピックのメダルから広がった聖公会の輪

東京聖三一教会

様々な問題をかかえつつ開催された東京2020パラリンピックが9月5日、幕を閉じました。最終日早朝に行われた男子マラソンをご覧になった方もおいでと思いますが、視覚障害ランナー、堀越信司(ただし)さんの銅メダルは思いがけない人とのつながりをもたらしてくれました。



パラリンピック開催日の編隊飛行 (吉村共介兄撮影)

友人がフェイスブックに「マラソン・堀越信司選手、恩返し」の走りや銅メダル9月5日が「つらい日」から「特別な日」という新聞記事をシェアされ、その日が息子さんが視力を失う手術の日だったことを語られたお父様の堀越喜晴(よしはる)さんが聖公会の『聖歌集』505番の「もちいたまえ」の改編をされた方と紹介されました。

(古今聖歌集増補版から掲載)。詳細記事はURLを参照ください。 <https://www.nbs-tv.co.jp/news/articles>

実は堀越喜晴さんは私の関係する団体で支援している視覚障害学生奨学金を大学院時代に受けられていた関係で以前から繋がりがありましたが、聖公会信徒と聞いて驚きました。メールでお祝いを伝え、自分が東京聖三一教会所属とお話ししましたところ、なんと奥様の倫世(みちよ)さん(旧姓荒木)は1980年代頃に聖三一教会に通っていたらして、ご自身も幾度か竹内謙太郎司祭の聖餐式に出られたとの。思いがけない縁が重なりました。現在は長野市にお住まいで長野聖救主教会所属。聖職候補生時代に聖三一教会にいらした大和孝明司祭の奥様、大和玲子司祭が司祭様だということにも不思議なつながりを感じています。

次々と連なる嬉しい出来事を教会の会報誌「聖鐘」で分かち合いたいと堀越さんをお願いしましたところ、すぐに承諾いただきました。返信の終わりの一文をそのまま引用させていただきます。

きます。

正に、「全ての出会いはその御手の中に」(聖歌458番)を実感させてくれる出来事です。ね。神に感謝!

BSA理事会開催報告

7月26日(月) オンライン

VISION175号編集内容

信徒叢書新刊発行計画進捗状況

第109総会(11月27日・土)

開催会場と方法

支部長会議開催時期そのほか

8月30日(月) オンライン

VISION176号編集内容

信徒叢書発行準備状況報告

第109総会の開催について

特別委員会そのほか

9月27日(月) オンライン

VISION176号編集内容

訃報・竹田 眞主教

元BSA本部チャプレン

信徒叢書の発行と贈呈案

第109総会の開催について

2021年度事業活動中間報告

2022年度事業活動計画(案)

2022年度会計収支予算(案)

第109総会議案について

2022年度BSAセミナー

ほか

10月25日(月)オンライン

VISION176号編集内容

信徒叢書贈呈送付報告

特別委員会開催予定

評議員会開催予定

第109総会の開催について

2021年度事業活動中間報告

2022年度事業活動計画(案)

2022年度会計収支予算(案)

ほか

シリーズ 宣教協働区(3)

「宣教協働区・伝道教区制」

導入という変革の時

管区事務所総主事

司祭 エッサイ 矢萩 新一

日本聖公会第65(定期)総会(2020年10月)において、日本聖公会の11教区を3つの宣教協働区に分けて協働関係を深めること、教区が教区会の決議と総会の承認によって教区主教を置かない伝道教区になることが可能になりました。その後、関連する法規の整備と、北関東教区が「伝道教区」となることを決意された教区会決議を承認する第66(臨時)総会(2021年3月)が行なわれました。その法規の主な内容は、「教区が伝道教区となる時は、当該教区主教は退任する。首座主教は宣教協働区内の教区主教と協議し、主教会の同意を得て、宣教協働区内の教区主教の一人に伝道教区の管理が委嘱される。」(第10条の2)、「日本聖公会の宣教体

制強化と教区再編をはかるため、複数の宣教協働区【東日本(北海道・東北・北関東・東京)、中日本(横浜・中部・京都・大阪)、西日本(神戸・九州・沖縄)】を置く。宣教協働区に協働委員会を設け、区内の運営、宣教・牧会などについて協働を推進し、また教区再編について検討する。」(第128条の2)、

「教区は、教区会の決議と総会の承認によって伝道教区になることができる。宣教協働区内の教区が伝道教区になった場合、協働委員会は、伝道教区の運営、宣教・牧会などについて宣教協働区内の協働を推進し、5年を期限として教区再編あるいは教区新設することを検討する。期限を延長する場合、当該伝道教区管理主教は主教会の承認を得て、首座主教による公示をする。伝道教区は、日本聖公会総会に代議員の議席を有する。伝道教区は、伝道教区会の決議と総会の承認によって、教区となることとができる。」(法規第128条の3)

この決議により、各宣教協働区に協働委員会が設けられ、現状の分ち合いに始まり、交流や具体的な協働の可能性について協議が進められています。シリーズの第1回目にも記しましたが、必ずしも日本聖公会を3つの教区に統合していくことを意図したのではなく、宣教協働区における様々な宣教活動や助けを必要とする部分への牧会活動を共有し、手を取り合っ

ていくことと、教区の再編成を立案・調整する働きが含まれています。今年4月1日に「伝道教区」となった北関東教区は、宗

具体的な協議が始められてい

す。同じ東日本宣教協働区に属する北海道教区は、2022年に教区主教が定年を迎えますが、東北教区との協働を視野に入れて教区主教選挙をすること

を決定されています。教区の広さ、教役者の数や年齢層、各教会の規模や財政状況など、遠くない将来の教区再編を視野に入れつつ様々な角度から検討され、それぞれの異なる判断があり得ます。伝道教区制導入前から、合併を目指して歩

教会」という小文を書きました。今回は教会のその後について書くことにします。

1960年、東北教区で戦後2番目の教会として岩手県室根村折壁に室根聖ナタナエル教会が誕生しました。それ以前から立大BSA第3支部はこの地で子ども会、勉強会、信徒宅での労働奉仕などの活動を続けてきました。私が学生時代、この活動に参加しました。



室根の教会の最初の受洗者・高橋貢さん(前列中央)の農地で。後列中央は元BSA会長伊達宗浩氏、その右は武藤六治主教。

り教勢は衰退しました。それでも長く管理牧師であった越山健蔵司祭や後任の林国秀司祭によって建物の維持・管理、修繕や改修などの地道な努力は続けられてきました。その陰には地元ゆかりの信徒の方々からの多額な献金があったことも忘れられません。東日本大震災の際には岩手県地方のボランティア活動の拠点にもなりました。

しかし今年の2月、ただ一人地元に残っていた信徒が亡くなり実質的な信徒はゼロになりました。教会は存廃の岐路に立たされたのです。その事を議論するため信徒総会の開催は不可欠ですが、実質的な信徒がいな

状況では開催は難しいと思われ、支えてきて故人となった方たちの縁者で現在受聖餐者である方々に集ってもらい、教区主教、赤坂常置委員長にも来ていただき何とか開催にこぎつけました。私も陪席として出席しました。議題は2つで、1つは宗教法人・室根聖ナタナエル教会を宗

教点の報告や意見・要望があり、両議案とも承認されました。私はそれまで知らなかったのですが、室根の教会は東北教区の他の多くの教会と同じように独立した宗教法人格を持つ教会だったので。従って維持や修繕等にお金がかかっても、基本的には教会自身が全額負担するのが原則。今後も維持するには多額の経費が予想されるので教区直轄の教会にして教会の独自負担

は減らすことが必要。同時に礼拝堂、集會室、旧高橋宅を改修・整備して宿泊研修会やボランティア活動の拠点としての活用を教区内外に広く呼びかけていこうなどの説明や意見、提案が出されました。越山健蔵司祭にとって室根で

の最後の礼拝が10月2日に行われ、二代に亘る司祭お二人と各地に散らばっているゆかりの信徒合わせて13名の出席がありました。礼拝後、健蔵司祭への感謝・送別の会が行われ、健蔵司祭と信徒それぞれの思いが語られました。哲也司祭からは今後

小さな村の小さな教会ー

その後

インマヌエル新生教会

ヨハネ 松平 謙次

2019年1月号に岩手県の折壁にある室根聖ナタナエル教会に関する「小さな村の小さな

(理事)

清里高原だより 清泉寮ニューース

紅葉の清泉寮の森を歩いてみませんか

立ち寄りください。

●秋の清泉寮で自然散策

標高1,400mにある清泉寮周辺は、この時期八ヶ岳から秋の季節が降りてきます。森は鮮やかな紅葉に染まり、虫たちの声も賑やかな実り豊かな季節です。この秋の清泉寮の森を歩いてみませんか。

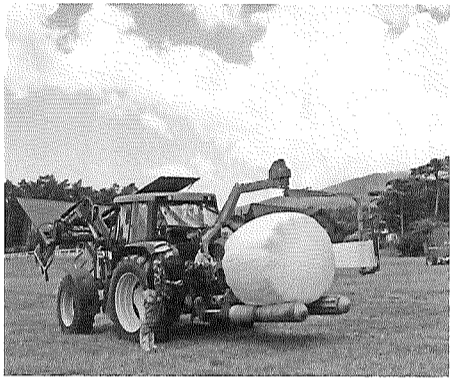
●秋の牧場イベント開催

清泉寮では「秋の牧場イベント」を開催しています。清泉寮ジャージーハット前広場には子牛を間近に見られるパドックが設けられ、週末には「ジャージー牛放牧」が行われます。また、大型トラクターの荷台に揺られる、普段は立ち入りを制限している清泉寮ジャージー牧場をガイドと一緒に巡る1週60分の「スペシャル★ヘイライド」や、複数の大型トラクターによる大迫力の「牧草ロールづくり実演」など目白押しです。

日程の詳細は清泉寮公式HP (www.seisentyojp) をご確認ください。



清泉寮向かいの山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンターには、清泉寮の森の見どころや、自然や文化について楽しく学べる情報がたくさん揃っています。森にお出かけの際には、ぜひ八ヶ岳自然ふれあいセンターにもお



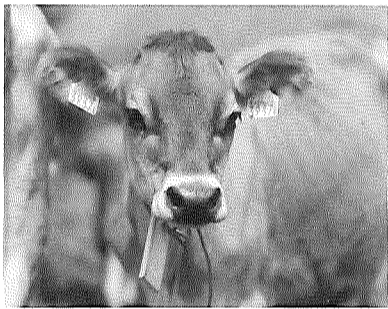
●清泉寮ジャージー牛ファンクラブ 近日詳細公開予定

2022年4月、公益財団法人キープ協会は公益事業として

取り組んでいる高冷地酪農事業(生産・実験等)および清泉寮について、多くの方々に知っていただき、希少なジャージー牛への理解を深めていただくとともに、この事業を応援するための会員組織「ジャージー牛ファンクラブ」を設立し、活動を始めます。会員(メンバー)は、関係者以外の立ち入りを制限している清泉寮牧場内にご案内し、一定の条件の下になります。ジャージー牛と触れ合うことが可能となります。また、年間を通じて、清泉寮に格安で宿泊できる、限定オリジナルグッズを購入できる等様々な種類の特典を受けることができます。

年会費はキープ協会への特定寄付金として受領させていただきます。公益財団法人への寄付として確定申告をすることにより税制上の優遇措置を受けることができます。年会費の9割はジャージー牛を飼育する農場施設の維持・整備に、1割は創設者ポール・ラッシュ・邱等の保存・管理に活用されます。

清泉寮が大好きな方、ジャージー牛について知りたい方、広大な牧場でジャージー牛と触れ合いたい方、多くの方のご入会をお待ちしております。詳細は11月中旬頃、清泉寮公式HPで公開予定です。



2021年ジャージー牛人気投票第1位 デージーちゃん

「VISION」文芸

野田 徹

吉松英美

枝先に実りふくらむ秋きたり
残りたる暑さを惜しみ缶ビール
秋晴れや落葉踏みゆく鹿の群れ

雲辺 (松岡正治)

手短に話せば分かる秋の夜
蜜豆や銀座の午後の裏道

来信は返事ばかりや秋の空
想い出は煙の如し暹路宿

夕東風や診察を待つ墨田川

BSA信徒叢書

聖公会という名の教会 (一)(二)(三)(四)
聖公会という名の教会 (二)(三)(四)
今井泰治著

奇跡は語る
竹内 寛著

復活
竹内 寛著

聖書に聞く (一)(二)(三)
速水敏彦著

キリスト教史—古代
菊地栄三著

キリスト教史—中世・現代
菊地栄三著

十字 架
竹田 眞著

サクラメント
竹田 眞著

礼拝一口メモ (一)(二)
竹内謙太郎著

わたしたちの「祈禱書」
森 紀旦著

米国聖公会 (一)(二)
飯田徳昭著

(以下、新刊)
聖書の心と茶の心
高橋宏幸著

ウィリアムズ主教に学ぶ
—その生涯と同師をめぐる人々—
松平信久著

神の教会・わたしたちの教会
—信徒の奉仕職のヴィジョン—
加藤博道著

お詫び・訂正

信徒叢書21「神の教会・わたしたちの教会」12ページ3行目「身的なものもあるようです」の文字列を削除。
同上15ページ13行目「求道者の霊的な旅路の同伴者」の閉じ括弧()を付記。
お詫びして訂正いたします。

訃報

主教 ヨハネ 竹田 眞師父 (91歳)
9月13日逝去

編集後記

今回は信徒叢書新刊発行の記事満載の8ページ建てとなり、主教練方はじめ多くの会員からいただいたお祝いのメッセージで盛りだくさんとなりました。コロナ禍の異常事態でBSAの活動も思うに任せない中、3冊の叢書が同時に出されたことは、文芸欄の短歌に詠われている通り正に「BSAに新しき太陽昇る」感があります。

東京パラリンピックの銅メダリスト堀越信司選手が長野聖教主教会信徒の堀越兄弟のご子息であることを初めて知りました。その快挙が東京三三教会報「聖鐘」に載ったのを人づてに聞き、ここに転載させていただきました。(N・H)

会費納入のお願い

BSAの運営は皆さまの会費、賛助会費を財源として賄われております。会費納入にご協力のほどよろしくお願いいたします。郵便振替または銀行振込みのいずれでも承っております。

郵便振替口座

00170-5-87165

銀行口座

三菱UFJ銀行 虎ノ門支店
普通預金 4057002
一般社団法人

日本聖徒アンデレ同胞会

(イッパンシヤダンホウジンニホンセイトアンデレドウホウカイ)

銀行振込の際は、お名前前に宛名ラベル右下の番号の下4桁を入力して下さい。